



University of the Ryukyus

皆様の発表を受けて

神谷 大介

琉球大学 工学部 工学科 社会基盤デザインコース

琉球大学 島嶼防災研究センター(併任)

琉球大学 工学部附属地域創生研究センター 社会システム研究部門長(併任)

関西大学社会空間情報科学研究センター 客員研究员

d-kamiya@tec.u-ryukyu.ac.jp



●星部長を受けて

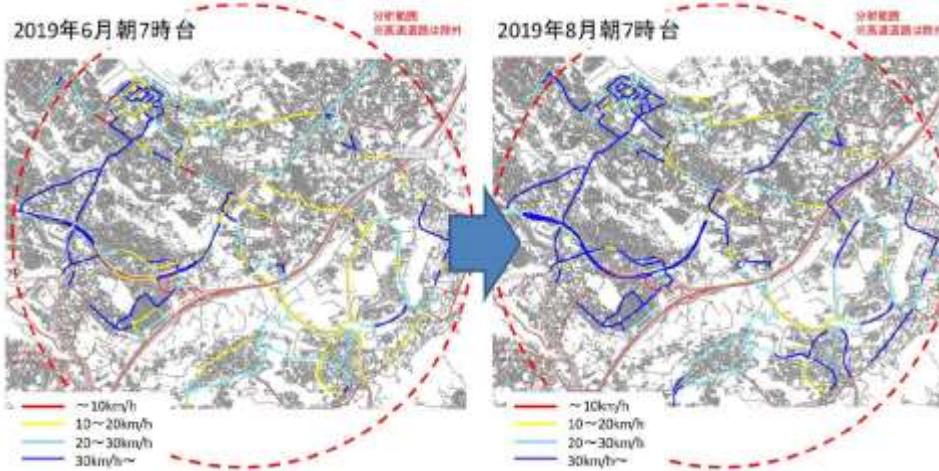
- 運輸部門からの温室効果ガス排出量
- 大学も同じ 95%の学生が自家用車通学





大学の課題認識

- 琉球大学交通環境の在り方WT：渋滞・事故・千原キャンパス施設維持管理費

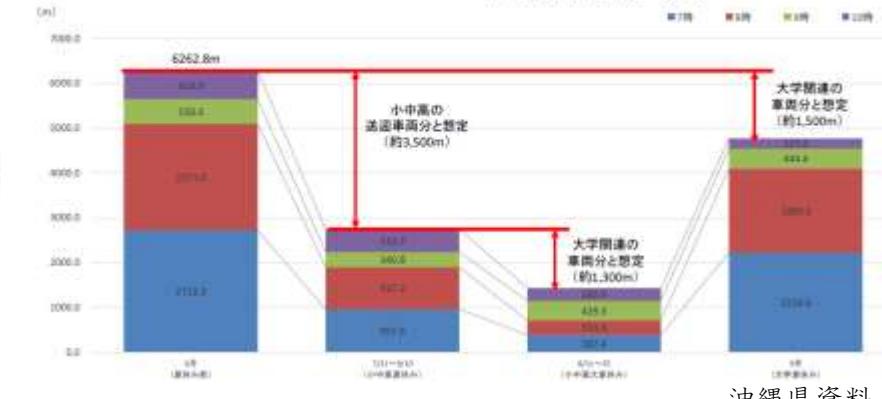


データ：2019年6月～9月の民間ブロープデータより、各月の総両面5mm以上の日を除去した日数から担当たびの渋滞量（10km/h未満のリンク長を積み上げた値）を算出

沖縄の小学校、中学校、高校の一般的な夏休み時期：7/20～8/29

琉球大学の夏休み：8/10～9/30

琉球大学の1限目：8:30～10:00



沖縄県資料

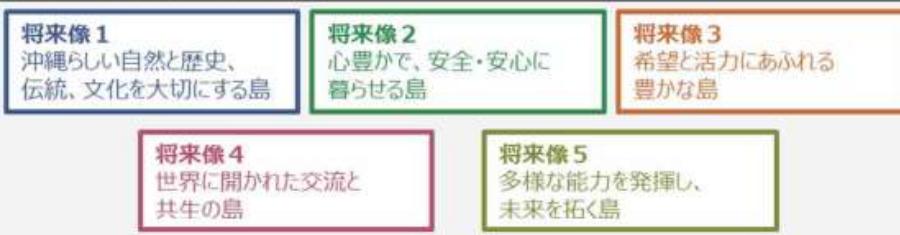
- 医学部・病院の西普天間移転・県道81号渋滞
- カーボンニュートラル達成に貢献する大学等コアリション：SDGs
- L型大学：地域連携・貢献
- 次期振興計画・SDGs



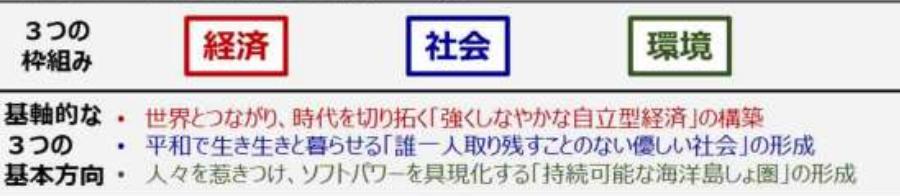


背景(沖縄県の課題認識と施策)

沖縄 21世紀ビジョンの将来像



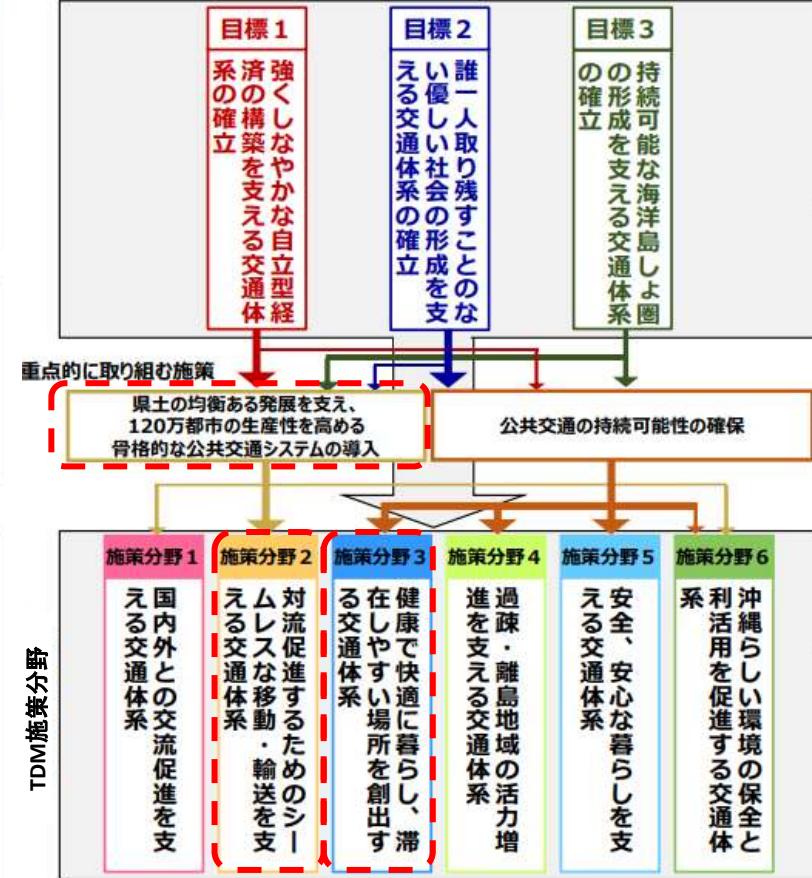
新・沖縄 21世紀ビジョン基本計画



総合交通体系基本計画の目標



総合交通体系基本計画の目標



SMART?

出典：沖縄県総合交通体系基本計画・TDMアクションプログラム





●星部長を受けて

- 運輸部門からの温室効果ガス排出量
- 大学も同じ 95%の学生が自家用車通学

●労働生産性

- 全国の所得に対して1975年からずっと70~75%
- 1人あたり観光消費額1978年約7.4万円⇒2019年7.4万円

R1検討で設定した時間価値(円/分)			
	選好接近法 (需要予測モデルにより算出)	所得接近法 (平成30年毎月勤労統計に基づき算出)	
通勤	17.0	28.2	
業務	17.2		
通学	13.7	同左	
私事	23.8	同左	

所得接近法の 算定資料	現金給与総額 (円)	総実労働時間 (時間)	時間価値 (円/分)
全国	323,547	142.2	37.9
東京	413,275	141.1	48.8
愛知	344,846	144.0	39.9
大阪	339,081	139.3	40.6
福岡	302,818	142.3	35.5
沖縄	244,775	144.7	28.2
沖縄・構想段階(H26)	236,220	148.0	26.6

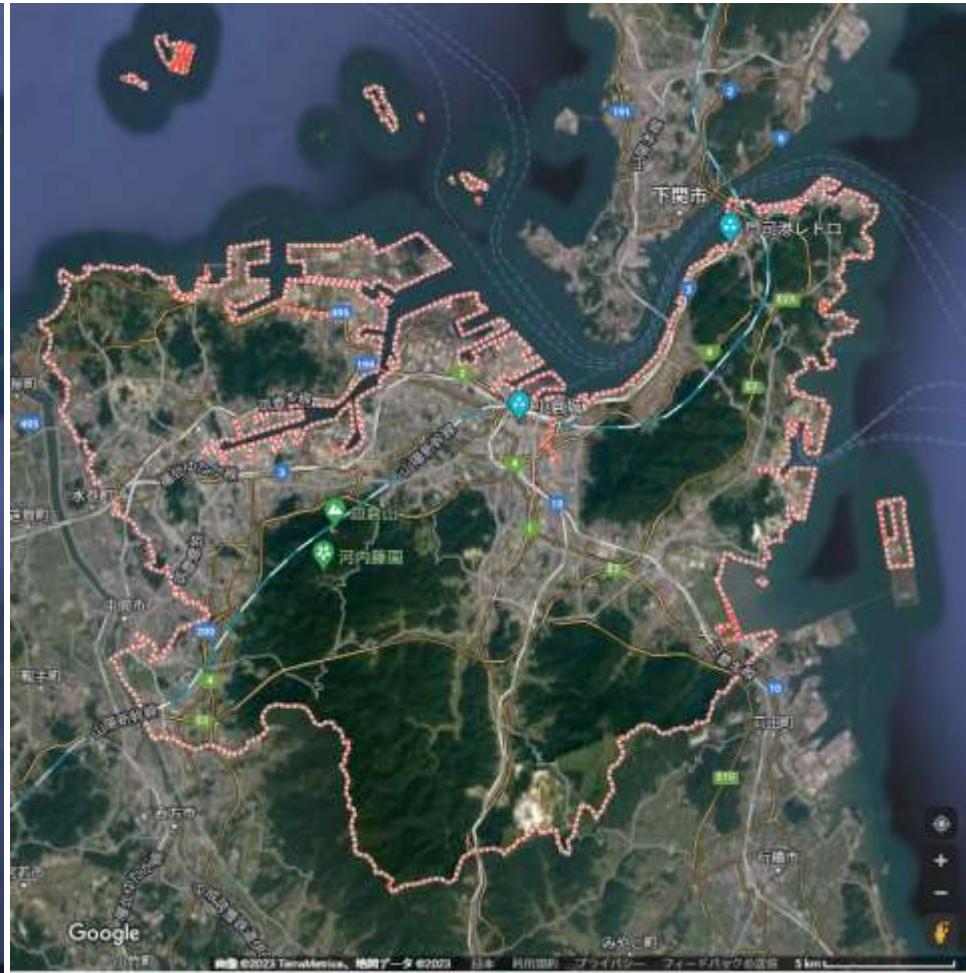
平成30年毎月勤労統計に基づき算出

【参考】首都圏の時間価値		
参考	首都圏(円/分)	
	選好接近法による 時間価値	所得ベースでの 時間価値
通勤	42.6	43.4
業務	43.2	
通学	19.3	
私事	25.0	

選好接近法:「鉄道需要分析手法に関するテクニカルレポート」
(H28.7、交通政策審議会陸上交通分科会鉄道部会)
所得ベース:平成30年毎月勤労統計に基づき算出



中南部都市圏と北九州市





勉強会資料

● システム思考・試行

□ (公共) 交通計画の前に、社会計画

□ なりたい社会(共有)，必要な移動，何を公共交通で？

● 交通：派生需要 であるならば

□ 通院：医療サービスへのアクセス（遠隔医療・医師派遣）

□ 購買：宅配サービスで対応だけ？

□ 離島架橋による孤立化





交通・まちづくり・仕事



- 病院
- 図書館
- 商業施設
- 飲食 etc.



雇用 <=観光・交通PF/事業協同組合



離島公共交通の維持

喜界島



Amami Air Co.,Ltd

株式会社 奄美航空



西表島



ガソリンスタンド



スーパー



土産物店スーパー



整備工場



両先生のご講演より

- VISION (セクターまたぎ) SMART

- 富山県知事は「富山のSUMP化」を目指す

- 沖縄県知事は・・・市町村長は・・・

- Qサポ RYUサポ？ ・・・

- 社会システム研究部門





琉球大学工学部附属
地域創生研究センター
Research Center for Regional Development and Creation

[センターについて](#)

[研究プロジェクト](#)

技術相談・
共同・受託研究

[TOP](#) ■ [研究プロジェクト](#) ■ [社会システム研究部門](#)

[センターについて](#)

社会システム研究部門



第6回琉球大学社会システム研究講演会
第66回土木計画学研究発表会

日時 2022年11月12日（土）13:15～16:30

場所 琉球大学文系講義棟2F 215室

開会の言葉

島袋善明（土木学会西部支部沖縄会会長・沖縄県土木建築部長）

「沖縄開発への期待」

講師：森地茂（政策研究大学院大学客員教授、名誉教授、東京大学名誉教授、東京工業大学名誉教授）

「基地跡地利用と沖縄振興」

講師：岸井隆幸（計量計画研究所代表理事）

「子どもの未来を開く沖縄」

講師：久保田尚（埼玉大学教授）

「バスを活かした沖縄の未来への期待」

講師：中村文彦（東京大学大学院特任教授）

「沖縄の歴史と地域づくり」

講師：羽藤英二（東京大学大学院教授）

閉会の言葉

畠中秀人（土木学会西部支部沖縄会副会長・沖縄総合事務局次長）





高校生の通学実態

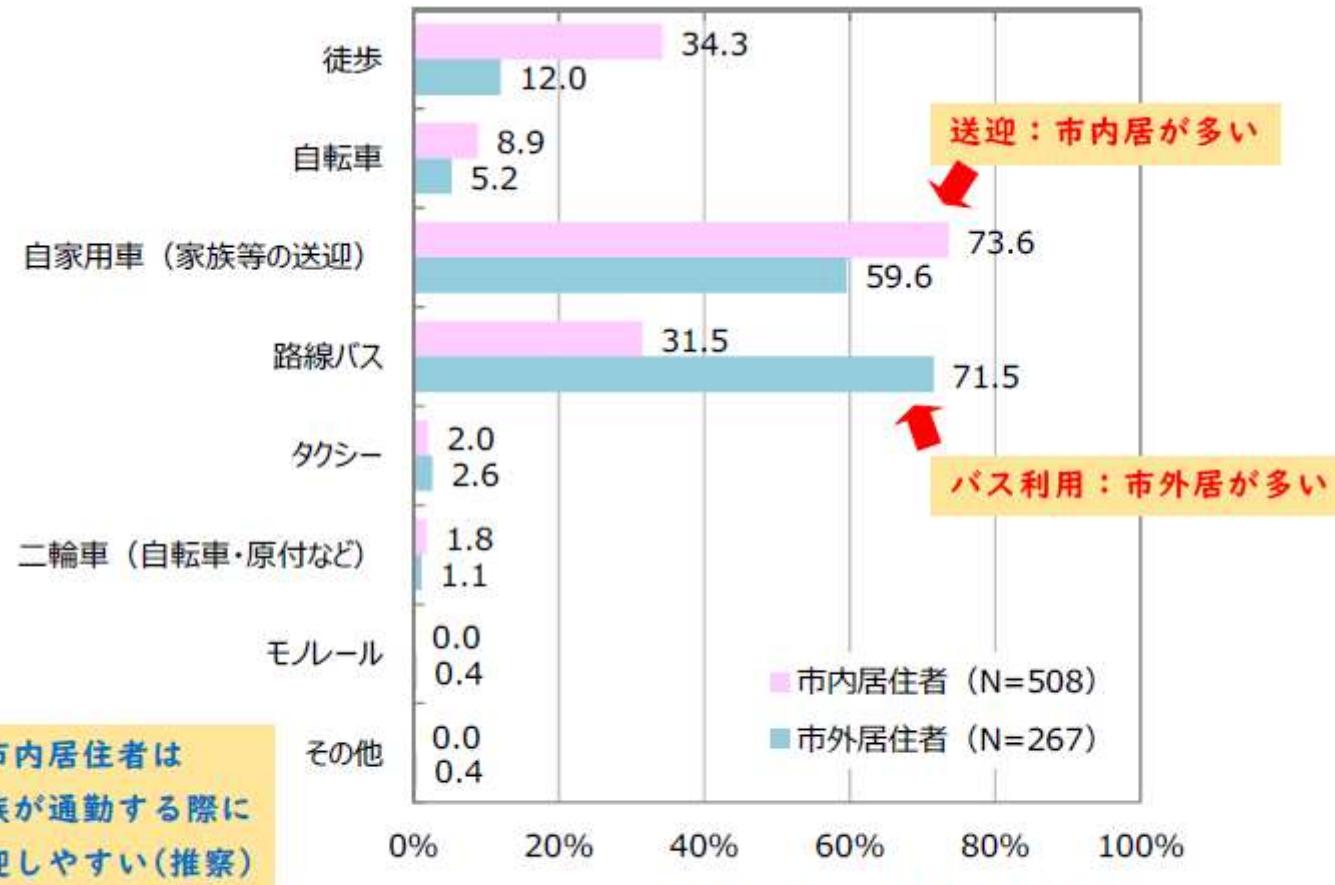
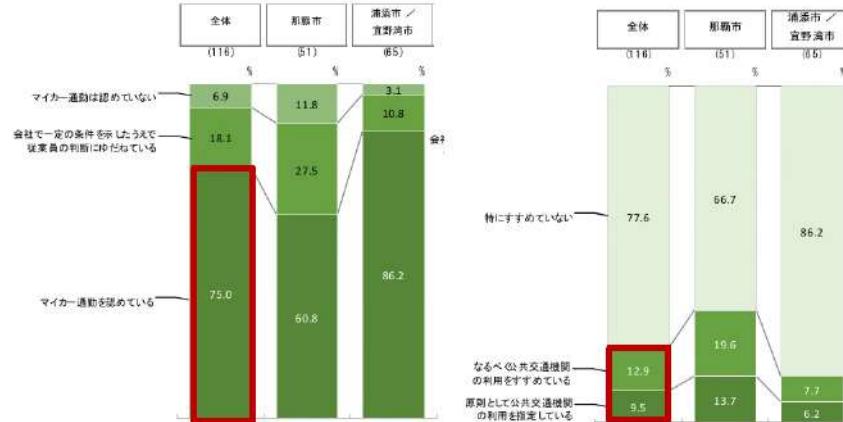


図 通学時の交通手段（居住地別）

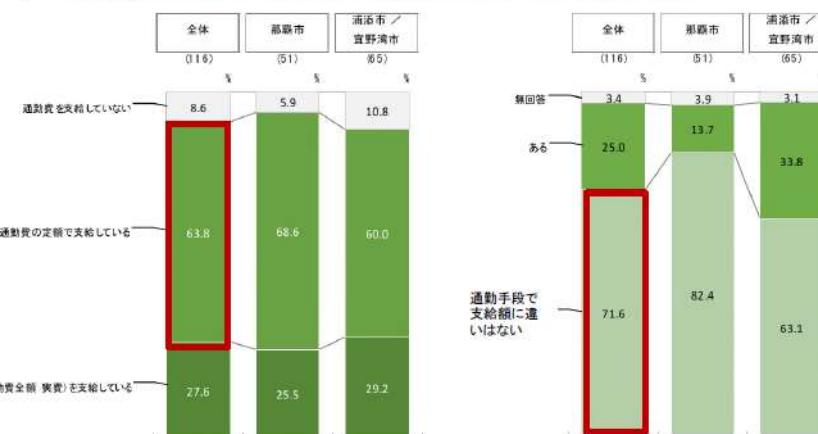


通勤

- マイカー通勤は、企業の7割以上が認めている
- 公共交通の利用推進をしている企業は、2割強にとどまっている

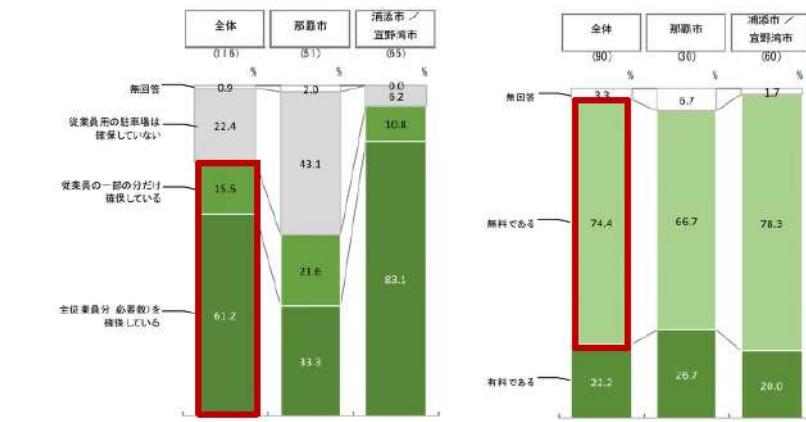


- 通勤費は、定額支給している企業が6割強、全額支給は3割弱
- 通勤手段によって支給額に違いがない企業は、約7割



出典：国道 58 号（「基幹バス構想」における主要幹線区間）を通勤ルートとする民間企業等従業員の通勤手段等に関する調査検討業務（平成 28 年 3 月）、運輸部 国道 58 号線沿線（概ね 300m 以内：主に従業員が国道 58 号線経由で通勤する）の従業員数 20 名以上の事業所対象（郵送数 557 社 回収率 20.8%）

- 従業員の駐車場を確保している企業は、8割弱にのぼる
- 7割以上は駐車場代が無料



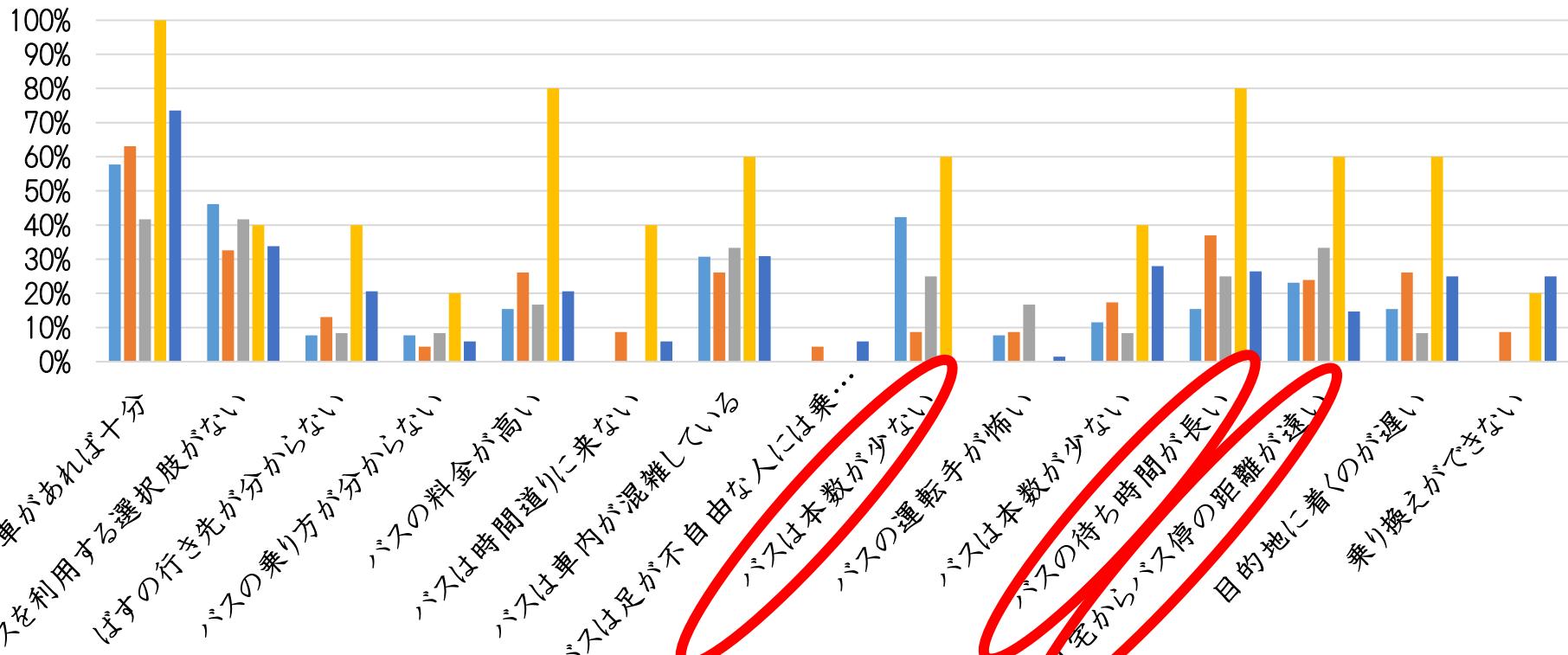
- 車通勤が望ましい理由は、“従業員の事情”とする回答が約 6 割
- 通勤手段の考え方は、従業員の意見による影響が大きい





バスに乗らない理由

■居住地58 ■居住地330 ■OD58 ■OD330 ■乗換



朝7時～9時における那覇向けバスの本数
国道58号浦添市区間 56本
国道330号浦添市区間 33本

データ: 沖縄県公共交通活性化協議会





発表を伺って

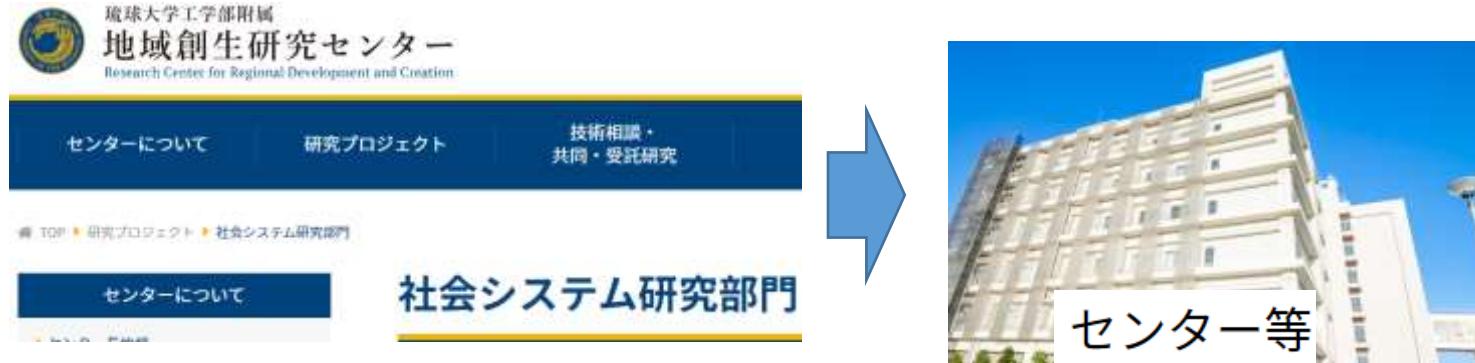
- 交通の乗降問題
- 運転手不足・路線維持／小型バス（免許）
 - 自動運転・労働生産性（所得）
- (国際)観光地域に適した公共交通計画（都市計画）
 - 移動手段・税・収入
 - 観光需要への対応 ⇒ 観光（移動）創造（公共交通・徒歩観光）/歩くまち・歩きたいまち
 - クルーズ（観光バス）首里城 ⇒ クルーズ（観光バス）（モノレール・路線バス）（徒歩）首里城：交通渋滞・公共交通利用
- 車の利用への課金：税優遇等
- 交通結節点の創造：既存施設の活用（RYCOM・病院？）
- 時間信頼性：定時性 > 速達性？（特に空港アクセス）
- 交通手段選択と料金抵抗：要確認
- 小規模自治体 ⇒ Communication
- 役割分担・責任：Communication
- クロスセクター：統合化：テストベッドアイランド
- 沖縄の強み：観光客・関心の高さ





おわりに？ はじめに？

● Integration / Communication



- 公共交通等に係る情報PF（まずアンケート結果でも）
⇒ 両先生からもご指導
- ブレスト ⇒ 構造化?
or なりたい姿から (21Cビジョン)
- 大学として何を？ 議論の場

